

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

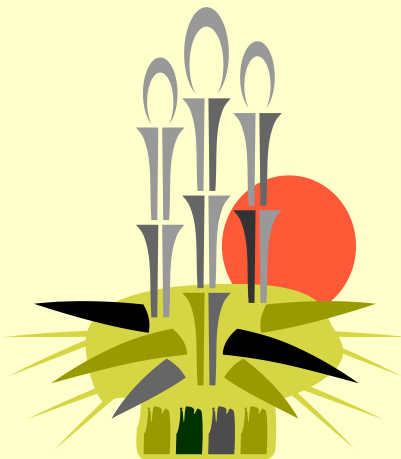
2021年の新春にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

有限会社伸栄総合サービスは平成2年5月に設立し、令和3年5月に31年目を迎えます。保育事業が16年目、請負事業が5年目、障害者自立支援事業は3年目を迎え、損害保険事業を行うシンセロ有限会社は20周年という節目の年となります。これもひとえにお客様、従業員、弊社の活動に賛同してくださっている皆様のお陰でございます。

昨年は、働き方改革に関連して、労働派遣法が改正されるということで、社内の制度や手順の見直しや、お客様や派遣社員への『同一労働同一賃金制度』のご説明という活動からのスタートでした。皆様からのご理解やご協力をいただき準備を進めて参りましたが、改正労働派遣法が施行される2020年4月辺りから、コロナの影響を受けることとなりました。求人がストップしただけではなく、売り上げが激減いたしました。2008年のリーマンショック時の経験を活かしながら、お客様にもお力添えをいただき、派遣社員・契約社員の雇用を確保し休業手当を支給することができました。

コロナウイルス感染拡大の影響が特に大きかった4~7月は経営的にも不安はありましたが、悪いことばかりではありませんでした。貯金という概念に乏しいと言われる外国人の従業員が、休業で給料が4割下がったにも関わらず、お金を貸して欲しいと言ってこなかったのです。また、休業の機会を利用して、資格取得にチャレンジしたいと申し出てくれた人たちもいました。会社で受講手続きを手伝い、その方たちは無事にフォークリフトの免許を取得しました。弊社が日頃から大切にしている、「時給や残業時間で会社を転々とするのではなく、お金の使い方や貯金を考えて生活すること」や、「1つの会社で長く勤め、会社から必要な人材になること」の重要性を外国人の従業員が理解し、実践してくれている結果なのだと実感し、大変嬉しく思いました。

昨年は同一労働同一賃金から始まり、コロナウイルス感染拡大で大混乱となった1年でした。ワクチン供給が始まりますが、世界情勢がどのように変化していくのかは不透明です。しかし、弊社は2021年も初心を忘れることなく、法令遵守を土台とし、お客様からも従業員からも信頼される会社づくりを徹底して参ります。「伸栄でよかった」と一人でも多くの方々に言っていただけるよう、社員一丸となって業務に取り組んで参りますので、本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



有限会社 伸栄総合サービス
代表取締役 加藤 和代